

CONTENTS

- 第7回リアス四季フォトコンテスト入賞作品 ……1
- 平成25年度組合一般会計予算のあらまし ……2
- 広域消防 平成24年消防統計から ……3
- 消防本部からのお知らせ ……3
- 人事行政の運営等の状況について ……4
- リアス・アーク美術館からのお知らせ ……6



最優秀賞



リアス四季
フォトコンテスト
入賞作品
決定!!

※「題名」(撮影地) 「遠い夏」(気仙沼市鹿折)
氏名(住所)の順 足利義信さん(一関市)

リアス・アーク美術館にて平成25年3月22日～
3月31日まで展示します。

優秀賞

◆風景部門



「幻想湾」(南三陸町伊里前)
菊田清一さん(気仙沼市)

◆くらしなりわい部門



「笑顔見る小正月」(気仙沼市赤岩羽田)
伊藤和臣さん(気仙沼市)

賞候補 (氏名のみ)

「秋祭りの日」 佐々木 均さん
 「大川の春」 足利 義信さん
 「神社へ」 足利 義信さん
 「いざ出発」 玉田 静司郎さん
 「波」 山本 馨さん
 「潮風と香気」 伊藤 和臣さん
 「泊の冬海」 菅原 順一さん
 「あさやけ」 小野寺 清春さん
 「復興みこし」 菊池 郁子さん
 「《復興へ》港、気仙沼 宵闇のブルース」 佐藤 和夫さん
 「海と生きる」 鎌田 理佳さん
 「(鎮魂) みなとの灯り」 鈴木 文博さん
 「前進」 菊田 清一さん
 「復興の日の出」 遠藤 正弘さん
 「次世代」 野副 美緒さん



「鯉船の入港」(気仙沼港)
村上 宏之さん
(気仙沼市)



「塩蔵ワカメ」
(志津川新漁港)
遠藤 正弘さん
(南三陸町)



「世紀の天体ショー」(田中)
鈴木 文博さん(気仙沼市)



「志津川遠望」(志津川湾)
北村 卓さん(仙台市)



「復興の獅子舞」(波伝谷)
藤島 純七さん(仙台市)



「元気発信」(入谷)
佐々木 均さん
(多賀城市)



「好日」(早稲谷)
小野寺喜久枝さん
(気仙沼市)



「ねがい」(登米沢海岸)
小野寺 清春さん
(気仙沼市)



「気仙沼の誇り」
(エースポート前)
村上 淳さん
(気仙沼市)



「安波山より気仙沼湾を眺めて」
(安波山)
佐藤 武夫さん(気仙沼市)

「伝えたい圏域の今」をテーマに募集した当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。審査は1月25日に仙台市の斎藤秀一氏(斎藤秀一写真事務所)に審査委員長をお願いしました。総評として、「伝えたい圏域の今」を写された、皆さんの心を強く感じる優れた写真が多く、審査に大変苦労いたしました。」と話されました。

※入賞作品(賞候補含む)は、3月22日~3月31日までリアス・アーク美術館で展示します!!

平成25年度 組合一般会計

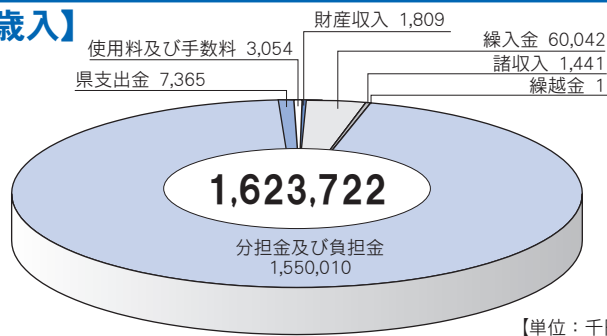
予算のあらまし

第182回組合議会定例会で『平成25年度一般会計予算』が原案のとおり承認されました。
 一般会計の歳入・歳出予算総額は16億2,372万2千円となりました。

平成25年度の主な事業

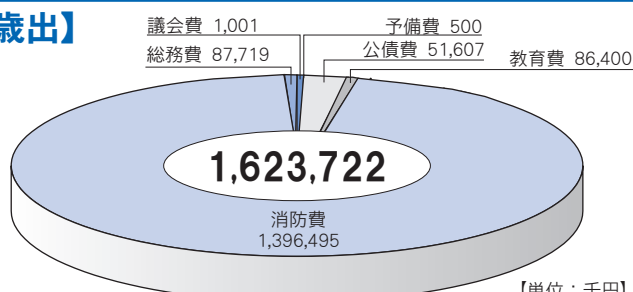
- ◎気仙沼消防署唐桑出張所 移転新築工事設計・施工監理業務委託
- ◎救急救命士養成
- ◎第17回「みんなの展覧会をつくろう」展
- ◎「水際に生きる〜ヴェネツィアの街並み〜」展
- ◎第8回リアス四季フォトコンテスト

【歳入】



【単位：千円】

【歳出】



【単位：千円】

平成25年度歳出予算

議会費

1,001千円(0.06%)
 組合議会運営費



総務費

87,719千円(5.40%)
 一般事務費、計画策定費、リアス・アーク美術館企画事業費等



消防費

1,396,495千円(86.01%)
 防災・消防・救急活動費・施設管理費等



教育費

86,400千円(5.32%)
 リアス・アーク美術館施設管理費等



公債費・予備費

52,107千円(3.21%)
 組合債の返済金等



※()内は構成比



広域消防

平成24年消防統計から



平成24年の火災について

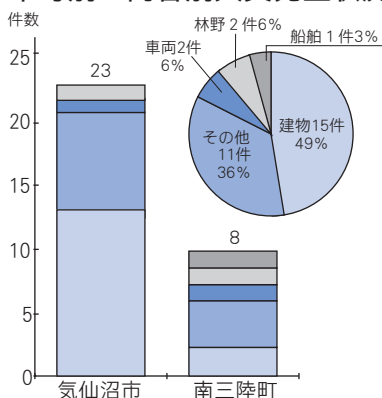
昨年の火災発生件数は31件で、前年に比べて25件減少しました。

また、火災による死傷者は、死者が4人（前年1人）、負傷者が2人（前年6人）発生しており、損害額は6,049万円余りで、前年に比べて5億3,882万円ほど減少しました。

なお、出火原因は、「放火・放火の疑い」が3件と最も多く、次いで「風呂かまど」、「電気器具」、「高温の固体」、「たばこ」、「火のついた紙・ゴミ」、「ガスバーナー」が各2件となっています。

火災の種類は、建物火災が15件（前年26件）で、次いでその他火災が11件、車両火災、林野火災が各2件、船舶火災が1件となっています。火災件数31件のうち、失火による火災が19件（全体の約61%）で、ほとんどの火災は不注意や不始末から発生しています。普段の心がけ次第で十分防ぐことができます。

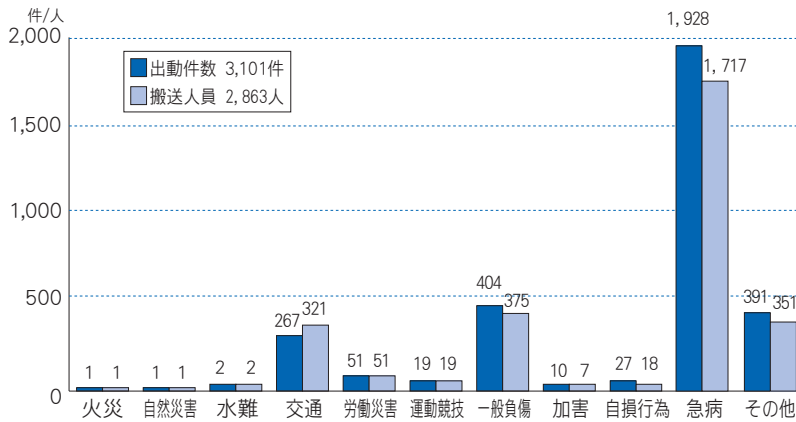
市町別・内容別火災発生状況



平成24年の救急出動について

昨年の救急車の出動は3,101件で、2,863人が搬送されました。これは、一日平均8・5回出動し、圏域住民の27人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出場件数で851件、搬送人員で829人の減となっています。

事故種別では急病が全体の約62%、年齢別では65歳以上の高齢者が約61%を占めています。



お知らせ

消防仮設庁舎について

東日本大震災による津波で庁舎が全壊した南三陸消防署歌津出張所の仮設庁舎が完成し、平成25年2月1日から業務を開始しました。また、同じく全壊した南三陸消防署についても、平成25年3月中に完成し、同年4月1日業務開始予定です。

【南三陸消防署歌津出張所】
南三陸町歌津字柘沢28番地1
(平成の森敷地内)
TEL 0226(36)2222

【南三陸消防署】
南三陸町志津川字沼田100番地61
TEL 0226(46)2677

救急艇について

東日本大震災による津波と火災により被災した高速消防救急艇に代わり、平成25年3月に救急艇が完成します。運用開始は、同年4月1日を予定しています。

【主な仕様】
・船舶用アルミニウム合金製
・総トン数 12t
・船名 あさぎり
・ウォータージェット推進

消防テレフォンサービスの番号が変わります

現在整備中の消防指令センターが平成25年4月1日から運用開始となります。

災害情報や休日当番医などをお知らせする消防テレフォンサービスの番号が変更となりました。

【変更日】
平成25年2月25日

【変更後の電話番号】
0180-992-699

「メール119」運用開始

聴覚や言語等に障害がある方が消防車や救急車をメールで要請できるように、従来の「FAX119」に加え、パソコンや携帯電話からの緊急通報「メール119」の運用を開始します。ご利用する場合は登録が必要となります。

【登録受付開始日】
平成25年2月25日

【運用開始日】
平成25年4月1日

【対象者】
聴覚・言語等に障害があり、気仙沼市・南三陸町に居住又は通勤・通学している方。

登録方法などの詳しい内容については、消防本部までお問い合わせください。

○問い合わせ先

消防本部通信指令課

FAX TEL 0226(22)6688
0226(22)0119

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分	全職種
支給実績（平成23年度決算）	1,561,940円
手当の種類（手当数）	5種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（平成23年度決算）	12,203円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成23年度決算）	67.0%
内 容	①救急業務手当 1回 100円
	②機関勤務手当 1当務 100～80円
	③火災・救助業務手当 1回 200円
	④高速消防救急艇勤務手当 1当務 200円
	⑤潜水業務手当 1回 500円

(4) 一般会計における時間外勤務手当

平成23年度	支 給 総 額	32,901千円
	職員1人あたりの支給年額	185千円
平成22年度	支 給 総 額	72,066千円
	職員1人あたりの支給年額	419千円

(5) 一般会計におけるその他の手当（平成24年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1. 配偶者：月額 13,000円 2. 配偶者が無く、扶養親族がいる場合 1人目 11,000円 2人目 6,500円 3. その他の扶養親族 1人につき 6,500円 4. 特定扶養（満16歳～22歳までの子） 1人につき、5,000円加算 ○国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1. 借家・借間に居住している職員 27,000円を限度に家賃に応じて支給 ○国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	1. 交通機関などの利用者 55,000円を限度に運賃に応じて支給 2. 交通用具の利用者 使用距離に応じて2,700円～26,600円を支給 ○国の制度との異同 1については、国と同じ 2については、国は、2,000円～24,500円を支給

6. 特別職の報酬等

（平成24年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額
管 理 者 副 管 理 者	年額	69,000円	教育委員会 教育委員長 教 育 長 委 員	日額	6,800円
	年額	60,000円		日額	48,000円
議 会 議 長 副 議 長 議 員	年額	56,000円	情報公開・個人 情報保護審 査会委員	日額	30,000円
	年額	48,000円		日額	6,800円
	年額	46,000円		日額	6,800円
監査委員	日額	6,300円	地方公務員法第3条第3 項第2号及び第3号に掲 げる特別職の職員	日額	予算の範囲内 で任命権者が 定める額
	日額	6,800円		日額	

7. 職員の勤務条件、服務、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間	始業時刻	終業時刻	休憩時間
1日7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から 午後1時

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日付与
病欠休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇 （主なもの）	結 婚 休 暇：連続する7日以内
	忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日など
	夏 季 休 暇：7月～9月までの期間において3日以内
	産前・産後休暇：産前8週間以内の申し出た期間、産後8週間
	育児時間休暇：1日1時間または1日2回、それぞれ30分
その他の休暇	介 護 休 暇：6ヶ月の期間内

(3) 育児休業の状況（平成23年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	0人	0人	0人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（平成23年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	0人	0人	0人

(5) 職員の服務の状況

職員の服務規律は、次の条例などに規定し、公務員としての綱紀の保持のため、随時文書などで職員への周知徹底を図っています。

①職員の服務に関する規則

②職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（平成23年度）

①職員研修の実施状況

区 分	受講者数	研修名等（ ）は、人数
宮 城 県 消 防 学 校	13人	・初任総合教育(13)
消 防 大 学 校	3人	・幹部科(1) ・救助科(1) ・救急科(1)
救急救命東京研修所	1人	・救急救命士養成(1)
そ の 他 （宮城県主催等）	173人	・メンタルヘルス研修(121) ・総務関係実務研修(2) ・その他(50)
合 計	190人	

②勤務成績の評定の状況

地方公務員法第40条に基づき、勤務成績の良好な職員の昇給を実施しています。

8. 職員の健康管理及び

公務災害補償制度の状況（平成23年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数（延べ数）	内容等（ ）は、人数
総合健康診断	165人	・人間ドック(12) ・脳ドック(7) ・各種がん健診(146)
定期健康診断	324人	・法定健康診断等 春季(169) 秋季(155)

(2) 公務災害の認定状況

加 入 団 体	災害件数	備 考
地方公務員災害補償基金宮城県支部	11件	

9. 公平委員会の状況（平成23年度）

県人事委員会より報告を受けた公平委員会の業務の状況

①勤務条件に関する措置要求：該当なし

②不利益処分に関する不服申立：該当なし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

平成24年12月

組合職員の任免、給与、勤務条件などの公平性及び透明性の確保のため、地方公務員法及び組合条例の定めにより、人事行政の運営等の状況について公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況(特別職を除く)

(1) 職員数の状況

区分	H23. 4. 1現在 職員数	H23. 4. 2~H24. 4. 1		H24. 4. 1現在 職員数
		退職者数	採用者数(うち再任用者数)	
一般職	12人	0人	0人(0人)	12人
消防職	172人	13人	20人(6人)	179人
合計	184人	13人	20人(6人)	191人

(2) 部門別職員数の状況

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
	平成24年度	平成23年度		
一般行政 部門	事務局	6人	6人	
	美術館	5人	5人	
	消防	1人	1人	
消防部門	消防	179人	172人	新規採用14人、退職13人、再任用6人
合計	191人	184人	7人	

※組合定数条例で職員の定数は211人となっている。

(3) 年齢別職員構成の状況(平成24年4月1日現在)

区分	20歳 未満	20~23歳	24~27歳	28~31歳	32~35歳	36~39歳	40~43歳	44~47歳	48~51歳	52~55歳	56~59歳	60歳 以上	計
職員数(人)	10	32	19	17	24	24	6	6	8	3	36	6	191
構成比(%)	5.2	16.8	9.9	8.9	12.6	12.6	3.1	3.1	4.2	1.6	18.8	3.1	100

2. 人件費の状況(一般会計決算)

区分	歳出額 (A) 千円	実質収支 千円	人件費 (B) 千円	人件費比率 (B/A)	(参考) 22年度の 人件費比率
平成23年度	2,118,710	57,934	1,369,337	64.6%	84.6%

3. 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況(一般会計の当初予算)

区分	職員数 (A)	給与費				1人あたり 給与費 (B/A)千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 (B)千円	
平成24年度	191人	670,584	176,904	238,640	1,086,128	5,687

※1. 職員手当には、退職手当を含みません。
2. 特別職に支給される報酬は含みません。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況(平成24年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	291,879円	334,727円	41.3歳
消防職	269,319円	329,044円	37.3歳
宮城県(一般行政職)	339,022円	419,141円	42.5歳
国(一般行政職)	304,944円	372,906円	42.8歳

※平均給与月額は、平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況(平成24年4月1日現在)

区分	初任給	区分	初任給
一般行政職	大学卒 172,200円	宮城県 (行政職)	大学卒 178,800円
	高校卒 140,100円		高校卒 144,500円
消防職	大学卒 197,200円	国 (行政職)	大学卒 172,200円
	高校卒 158,100円		高校卒 140,100円

4. 職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(平成24年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	係長 主任主事 主任学芸員	主幹兼係長	次長 副館長 主幹兼係長	副参事	事務局長	
職員数	2人	2人	4人	0人	2人	1人	1人	12人
構成比	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	100%

(2) 消防職の級別職員数の状況(平成24年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主任 消防士長 消防副士長	係長 消防士長	出張所長 課長補佐 当直司令 主幹兼係長	次署課 副署長 分署指揮隊長	隊長 長 消防長	
職員数	58人	40人	18人	27人	23人	12人	1人	179人
構成比	32.4%	22.3%	10.1%	15.1%	12.8%	6.7%	0.6%	100%

5. 職員手当の状況(平成23年度)

(1) 期末手当・勤勉手当(支給割合)

区分	手当の内容				増減(対前年度)
	区分	6月期	12月期	年計	
期末手当 勤勉手当	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分	
	勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.350月分	
	計	1.900月分	2.050月分	3.950月分	
職制上の段階、職務の級等による加算措置：有り					

(2) 退職手当(支給率)

区分	手当の内容				
退職手当	区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
	自己都合	23.500月分	33.500月分	47.500月分	59.280月分
	勤奨・定年	30.550月分	41.340月分	59.280月分	59.280月分
1 その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~20%加算) 2 1人当たり平均支給額：24,697千円(23年度退職者の平均)					



リアス・アーク美術館からのお知らせ

お問い合わせは0226(2)1611

★リアス・アーク美術館がよいよフルオープン!!

震災の影響で、昨年7月28日に部分開館し、9月1日に常設展をオープンしました。圏域住民だけでなく、全国から当地域を訪れるたくさんの方々にご利用いただいていたリアス・アーク美術館が、いよいよ平成25年4月3日よりフルオープンとなります。

従来の常設展示に加え、開館以来継続してきたシリーズ企画などの再開、さらに美術展などの特別展も行われます。また、新たに「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示もオープンとなります。震災を経て新しくなったリアス・アーク美術館をぜひご利用ください。

平成25年度の催し物

●常設展示 (アークギャラリー)

当地域の歴史、民俗、生活文化を「食」をキーワードに紐解き、あらためて見つめなおすことから、地域の未来を創造しようとする「方舟日記」。美術館という文化施設を通し、地域との新たな関係を築き上げてきた

美術家の作品を展示する「美術常設展示」。震災を経て、再編成されたこれら二つの常設展示を行っています。

「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示 (企画展示室)

この常設展示では震災発生直後から美術館学芸員が取材してきた、約3万点におよぶ記録写真の一部と同様に収集した被災資料、そしてそれらに添える解説、さらに、三陸沿岸部を中心とする過去の津波災害について、明治三陸大津波、昭和三陸大津波を主とした資料を展示します。

●「N.E. blood21 東北北海道在住若手作家紹介シリーズ」

Vol. 46～49 (圏域ギャラリー)

平成14年度から継続してきた同シリーズを再開します。本年度からは2名同時開催となります。

Vol. 46 / 千葉奈穂子展 (写真作品)

Vol. 47 / 石川深雪展 (陶作品)

5月25日(土) ～ 6月30日(日)

Vol. 48 / 三瀬夏之介展 (日本画作品)

Vol. 49 / 大柳 暁 (布造形作品)

11月27日(水) ～ 12月27日(金)

●「水際に生きる ～ヴェネツィアの街並み～」展

荻須高徳作品とヴェネツィアの文化から水際の暮らしを探る

7月13日(土) ～ 9月1日(日)

(圏域ギャラリー)

愛知県稲沢市荻須記念美術館が所蔵する、荻須高徳が描いたヴェネツィア作品、22点と代表作6点の計28点(油彩・水彩・リトグラフ・デッサン・タペストリー)を主にリトグラフを中心に紹介するとともに、水際の街、海とともに生きる街ヴェネツィアの、文化と暮らしを資料によって紹介します。

●「方舟際2013」

9月25日(水) ～ 11月4日(月)

(圏域ギャラリー他)

一般参加による美術館主催の文化祭。各種展覧会、歌、踊り、演奏などの発表を行います。6月初旬から募集を開始。(7月中旬締め切り)

●「みんなの展覧会をつくる」展

平成26年2月13日(木) ～ 3月16日(日)

(圏域ギャラリー)

開館以来継続開催してきた同公募展の第17回展を募集、開催します。本年度からは小、中学生部門のみの開催となります。(7月中旬より募集開始)

共催展・貸館事業のご案内

●共催展

「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム 恐竜展」

4月17日(水) ～ 5月12日(日)

(圏域ギャラリー)

国立科学博物館被災地支援事業による、恐竜骨格標本などを紹介する展覧会。アロサウルスの全身骨格標本を中心に、恐竜骨格標本などを展示します。

●貸館事業

「ファイト新聞」展

4月5日(金) ～ 4月7日(日)

(圏域ギャラリー)



その他の予定

●「けせい」展 / 「市内小中工美術」展 / 「小中書初め」展

●ワークショップ「夏休み工作教室」

8月16日(金) ～ 8月18日(日)

3日間

※展覧会などの会期は都合により変更となる場合があります。ご利用の際はあらかじめ確認をお願いいたします。

★開館時間：9時30分～17時

(入館は16時30分まで)

★休館日 / 月・火曜日・祝日の翌日